



飛驒市長 都竹 淳也

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。日頃より市政にお寄せいただきありがとうございます。ご支援とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行という、これまで経験したことのない事態が発生し、飛驒市においても市民生活や地域経済に多大な影響が出ました。また、七月豪雨は飛驒地域においても甚大な被害となり、幸いにして市内では大きな被害はありませんでしたが、道路崩壊などで交通事情に影響が出ました。

そのような中、待ち望んでいた国道41号船津割石防災事業が着手され、大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の実験開始やハイパーカミオカンデ整備の進展、更にこれまで想像もし得なかった市内での私立四年制大学設立構想が立ち上

がるなど、大変喜ばしい出来事もありました。

しかしながら、新型コロナウイルスは第3波の感染拡大が起こり、市内でも予断を許さない状況が続いています。市では毎週、新型コロナウイルス対策本部を開催し、市民生活や市内事業者の状況変化をつぶさに調査し、基本的な感染対策を反復・徹底しつつ、できる限り経済活動を回すという方針のもと、様々な対策を講じております。

また、コロナ禍で様々な事業やイベントが中止になる中において、課題に丁寧に向き合い、いいと思うことはとにかく実践してみるという前向きな姿勢から、オンラインでのツアーの実施や農業まつりから姿を変えた飛驒市まるごと食堂など、コロナの知見や経験から新たな手法や取り組みを生み出したものもあります。

今年は春以降、ワクチンの接種が本格的に始まると見込まれますが、劇的な終息は見通せる状況にはなく、「コロナと共に生きる生活」は今後も続いていくことが予想されます。そうした状況の中、本年もコロナ対策に万全を期しつつ、市が目指しております「元気であんな誇りの持てるふるさと飛驒市づくり」に向けた事業を着実に進めてまいります。

まず、「あんなきな飛驒市づくり」の分野では、弱い立場の方の支援や暮らしの質の充実を目標に、コロナ対策で「好評を得た住宅リフォーム支援や高齢者の生活を支える商品販売サービスへの支援の充実、認知症高齢者のサポート、多重債務者の支援などを進めたいと考えています。また、神岡町山田地内に整備を進めてまいりました多機能障がい者支援施設のオープンと共に、障がい児者の生涯にわたる相談体制の強化などに取り組みを進めてまいります。

また、「元気な飛驒市づくり」では、飛驒市の豊かな地域資源を活用する取り組みを進め、飛驒市の米や野菜、飛驒牛、鮎など多様な食を総合的に売り出していくほか、コロナ禍で増加している移住者の呼び込みの強化、会員数5400人を超えた飛驒市ファンクラブ会員向けの商品販売、オンライントラベルツアーなど、飛驒市の活力を生み出すための工夫を重ねてまいります。また、コロナ禍で全国的に田舎への帰帰が注目されつつあり、「移住したくなるまち飛驒市」を目指すとともに、飛驒市の歴史や文化、何気ない日常生活の「コマが魅力的な観光資源になりうる」という「飛驒市らしさ」を観光コンテンツで飛驒市観光を体験していただ

く施策を検討しております。

さらに、「誇りの持てる飛驒市づくり」では、人生百年時代の豊かな暮らしづくりのために、大学風に単位を取得しながら学べる「飛驒市民カレッジ」を本格開校し、生涯学習の充実を図るほか、山城イベントの開催や天生の森に伝わる止利伝説の調査などの歴史・文化の追求に取り組みたいと考えております。また、課題解決型人材を育成する「飛驒市学園構想」をさらに推進するとともに、ICTを活用した学校教育などを進めてまいります。

長く先の見えないコロナ禍の中ではありますが、新年の干支は「辛丑（かのと・うし）」です。「辛」痛みを乗り越え、破ろうとする命の息吹と捉え、明るく前向きな市政を進め、コロナ禍の厳しい状況を乗り越えて暮らしの安心とまの活力を生み出せるよう努力する所存です。新しい年が皆さまにとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



氏 郵 菁 住 贈 寄 茂



飛驒市議会議長 葛谷 寛徳

## コロナ禍後をめぐりして

あけましておめでとうござい  
ます。輝かしい新春をご家族お揃  
いでお迎えのことと、心からお慶  
び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表し  
新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から議会  
運営や議会活動に対し、温かいご  
支援ご協力を賜り、心から感謝を  
申し上げます。

昨年は、市長と市議会議員の同  
時選挙が行われ、無投票で都竹市  
長が再選され、議会は議員定数に  
一名不足する結果となりましたが、  
その中でも四名が新人という  
新しい議会がスタートしました。  
都竹市長が掲げます「元気で、あ  
んなきな、誇りの持てるふるさと飛  
驒市」を目指して、一步一歩前進  
しているところであります。また、「カミ  
オカンデ」を使った研究でノーベ  
ル物理学賞を受賞された名誉市

民であります。小柴昌俊先生がご  
逝去され、残念ではあります。今、  
ハイパーカミオカンデ計画が  
運用開始に向けて工事が着実に  
進められ、大いに期待できるとこ  
ろであります。

現在、新型コロナウイルスの感  
染拡大を防止するために、昨年か  
ら九回に渡り緊急支援策を重ね、  
地元経済や医療関係機関に万全  
の対策がされているところです。

市民や事業者の皆さんの感染防  
止対策では、マスクや手洗い、三  
密回避を徹底して感染予防対策  
を図りつつ、市民生活や経済活動  
に影響が出ないように正しい知  
識の周知をしております。

今、飛驒市では、政策の方向性  
を示す総合政策指針に基づき、ま  
ちづくりを進めているところで  
あります。コロナ禍で東京一極集中が見  
直され、地方にもチャンスが生ま  
れます。特に規制緩和やデジタル  
化が加速される中、地域資源を掘  
り起こし、地域の魅力を高めるこ  
とに全力で取り組んでいます。そ  
の1つがふるさと納税寄付金で  
す。お陰で地域振興や教育、防災  
などに貴重な財源となり財政を  
助けています。また、返礼品で協  
力した地元商店関係者は潤い、飛  
驒市の魅力が年々高まっていま  
す。

このように、今、飛驒市は元氣

で活力あるまちづくりを持続可  
能なものにするため、積極的にき  
め細かな政策を進めています。電  
柱の地中化を始め、飛驒古川まつ  
り会館が新装開業し、館内の展示  
を一新。「とんぼ」体験コーナーな  
ど、より一層内容を充実しまし  
た。全国に市のファンを増やす  
「飛驒市ファンクラブ」の部活動  
の開設や「ひだプラす」のまちづ  
くり拠点の開業、「ひだ森のめぐ  
み」の開設など飛驒市の多くの魅  
力が発信されています。強い農畜  
産業や広葉樹の活用も更に推進  
してまいります。

一方、福祉関係では、複合児童  
福祉施設や新和光園の完成、重度  
障がい者への対応や利用者への適  
性に応じた多様な支援を行うた  
めの日中一時支援事業を含めた  
多機能型障がい者支援施設がま  
もなく完成します。山之村に初の  
デイサービスが開所されました。  
また、発達段階に応じて連続性  
のある学びを行う「飛驒市学園構  
想」や史跡の保存事業が着実に進  
められています。

議会としては、特に、国・県当  
局に国道41号の雨量規制区間の  
早期解消、国道360号種蔵打保  
バイパスの工事推進、古川町谷地  
内の大規模特定河川事業など、引  
き続き強く要望してまいります。  
昨年の七月豪雨災害では、一部土

砂の流出等で通行止めがあった  
ものの、大きな被害に至らず、今  
後も災害対応には万全を期して  
まいります。神岡町の中心市街地  
で13棟を焼く大規模火災があり  
ましたが、焼け跡が放置される恐  
れもあり、安全確保のため、土地  
を買い上げる特別措置を行いま  
した。

他方、民間投資が積極的に行わ  
れ、宮川町内に豊富な水量と落差  
を生かした新たな発電所が森安  
と栗之内に完成しました。また、  
若者の市外流出が課題の飛驒地  
域で、四年後を目指し市内に四年  
制大学設立が進められています。

議会では、新たな取り組みとし  
て、事務の効率化、ペーパーレス  
化を目指し、議員向けのタブレット  
端末を九月議会から導入しま  
した。また、各地域の皆様にご参  
加いただき、「市民との意見交換  
会」を開催、貴重なご意見をいた  
だきました。

今後、さらに信頼され、より身  
近な議会、関心を高める議会活動  
を目指し努力してまいります。

結びに、新しい年が市民の皆様  
にとりまして、幸せで実り多い年  
となりますこと、議員一同、心よ  
りご祈念申し上げます。新年のごあい  
さつといたします。